

常山議員の12月議会 一般質問から

農地の耕作放棄対策について

皆野町において農林業を町の基幹産業と位置付け、地域一体でどうしたらやっていけるか考える必要があります。当町における農業専門者は10軒程度と少なく、高齢化や担い手不足などで放棄が進んでいます。大事な農地をそのまま放置しておくのではなく、持ち主と話し合い、対策をとる必要があると思います。

(質 問) 皆野町の農地の耕作放棄の現状をどのようにつかんでいますか。

(答 弁) 放棄地面積は

皆野(2529a) 国神(2910a)

金沢(2848a) 三沢(5335a)

日野沢(2449a)です。

(質 問) 耕作放棄地に対し、町はどのような対策を考えていますか。

(答 弁) ★みなのも未来農業研究会の事業の推進、★直売所の「道の駅みな」の登録、★有害鳥獣対策、

★中山間地域等支払制度の活用、★「ふるさと農園」や体験農場などの取り組みをやっています。

(再質問) 耕作放棄地に小麦をつくり「道の駅みな」の手打ちうどんに、地元産の粉を使う。

パンに合う小麦を育てパンを焼き、道の駅で販売する。

農業を守り、それを活用する人がいて、雇用も生まれ地域を元気にする取り組みが必要です。

皆野町の郷土芸能を守る

発展させるため

第4次皆野町総合振興計画(後期)に「獅子舞・神楽・人形浄瑠璃などの伝統芸能の保存と後継者の育成や発展の機会の拡充を図ります」とあります。

(質 問) 練習場所として文化会館を無料開放し、町として応援すべきではないでしょうか。

(答 弁) 負担の公平の観点から、利用者に負担を求めるといふ考え方で無料化については、現在のところ考えていません。

(質 問) 文化団体の補助金について、増額する考えはありますか。

(答 弁) 平成17年度より行財政改革で、補助金の見直しを行い、民俗芸能13団体に無形文化財後継者養成交付金として援助しています。ご理解をお願いします。

公共交通対策の進捗状況

について

(質 問) 皆野町議会として、身延町、胎内市の公共交通の視察、町営バス、西武バスの調査を行いました。私個人でも秩父市吉田、ときがわ町の公共交通の視察を行いました。

これらの視察・調査を通じ、学んだことを生かし皆野町としてどのような公共交通を検討し、めざすかが問われています。検討を重ね皆野町に合ったものをつくり上げる必要があります。町の進捗状況をおたずねします。

(答 弁) 内部で検討した結果、タクシーの補助制度を平成25年4月の実施をめぐりにタクシー業者と話を詰めているところです。

補助対象は、駅やバス停からおおむね1km以上離れている山間地域の70歳以上の運転免許証を持たない人で、週一回程度の利用分のタクシー料金の半分を支給。

(再質問) 総合的な町づくりの視点で、ただタクシー券を配布すればよいというものではない。実施する前にもっと町民の声を聞いてほしい。

(答 弁) この制度をまずスタートしていきたい。

新米議員のひとりごと

常山 知子



第四回12月議会定例会が終了しました。3・6・9・12月と4回の議会を経験しました。やっと議会の流れが理解できたところです。

この間、議会あるごとに一般質問を行い、町民の安心・安全と町づくりについて行政に訴えてきました。基本的には、みなさんとお約束した政策をとりあげ、またこの問題をお声を寄せていただき、質問してきました。

「3番 常山知子です。一般質問を行います」そこまではよいのですが・・・議会が終了し帰ってくる頃には、質問への消化不良がかけめぐり、いつも反省ばかりです。

ある方から『新米議員』の新米はとったほうがいいよ』とありがたいことを言ってくれましたが、まだまだです。

来年も新米議員で！そこには、いつも新たな気持ちで！もっと勉強・研究を！そういう思いをこめてがんばります